

# 再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担当課：都市整備課

担当課長名：榊 茂之

事業名	いちのみやがすがいせん 一宮春日井線			事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	あいちけんいわくらしずいちょう 自：愛知県岩倉市鈴井町 あいちけんいわくらしひがしまち 至：愛知県岩倉市東町				延長	0.6 km	
<b>事業概要</b> 本路線は、一宮市を起点とし、岩倉市・小牧市を経て春日井市に至る主要幹線道路であり、国道22号と国道41号を結び、一宮・小牧の両インターチェンジに連結する重要な路線である。当該区間は、名鉄犬山線を跨線橋で越えることにより現在施工中の東側区間の市事業と併せ、岩倉市北中部における東西方向の渋滞緩和を図るものである。							
H8年度事業化		S43年度都市計画決定 (S45年度変更)		H8年度用地着手		H18年度工事着手予定	
全体事業費		約33億円		事業進捗率		43% 供用済延長 0m	
計画交通量		34,800台/日					
費用便益比	B/C	総費用	総便益		基準年		
	3.8	33.21億円 事業費：32.79億円 維持管理費：0.42億円	126.42億円 走行時間短縮便益：124.22億円 走行費用減少便益：3.11億円 交通事故減少便益：-0.91億円		平成17年		
<b>事業の効果等</b> ・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。） ・個性ある地域の形成（名鉄犬山線により分断されている地区の一体的発展が見込まれる。） ・安全な生活環境の確保（並行する県道浅野羽根岩倉線の交通量を減少させ、名鉄と交差するボトルネック踏切（岩倉1号）の迂回効果による解消と安全性向上を図る。）							
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 地域分断の解消、市街地のより一層の発展のためにも地元岩倉市からも早期完成が望まれています。							
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 本事業区間の並行路線の県道浅野羽根岩倉線及び国道155号は名鉄犬山線と平面交差しており、慢性的な渋滞が発生している。この渋滞解消に、本路線整備への期待が大きい。							
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地買収は約96%進捗している。 残事業は、用地買収2件、道路工事L=625m（うち名鉄跨線橋工事あり）							
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地交渉や代替地の選定等に時間を要したことから、事業が長期化した。用地買収を完了するため、収用も踏まえ引き続き用地交渉を進め、平成22年度末事業完了を目標としている。							
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。							
対応方針	事業継続						
<b>事業概要図</b>							